

進路指導部通信

県立高等特別支援学校
進路指導部
2017. 12. 22 NO. 8



有意義な冬季休業にするために

生徒の皆さんにとっては楽しみの多い冬休みが始まります。生活リズムが崩れやすい時期ですが、規則正しい生活を送り、ルールを守り、過ごし方に気をつけて有意義な冬季休業にして欲しいです。



冬休み明けから文化祭の練習が本格的に始まりますが、3年生の中にはこの忙しい時期にも実習に頑張っておく生徒もいます。文化祭の直前まで実習に行き、文化祭までの数日で全体の流れを把握して、文化祭本番に参加することになります。肉体的にも精神的にも大変ですが、自己管理をしっかり行って乗り切りたいです。文化祭後には、2月5日(月)～16日(金)まで内定実習に行きます。内定実習と同じ時期に結合実習で頑張る生徒もいます。お互いに大事な実習です。体調管理に気をつけて、全力で頑張りたいです。

進路相談(二者懇談・四者懇談)について

1年生は3月に、2年生は2月に、進路指導部との進路相談を予定しています。

1年生は本人と進路指導部教員との二者面談を行い、主に学校生活や現場実習について話を聞きます。学校生活をふり返り、次の4項目がどこまでできているか確認しておきましょう。

観点	内容	○×
①働く意欲	働きたいという気持ちがあるか	
②健康	心身共に健康であるか	
③生活の安定	生活リズムが安定しているか(遅刻、欠席、早退、保健室の利用等)	
④社会性	マナーやルールが守れるか (挨拶ができる、適切な態度がとれる、素直に注意や助言が聞ける等)	

2年生は本人と保護者・担任・進路指導部教員との四者懇談を行います。学校生活や現場実習について話を聞く他、今後の進路希望について確認します。働く気持ちがあるのかどうか、進路希望についてもしっかり話を聞きます。まだはっきりと進路希望が決まっていないということもあるでしょう。しかし、保護者と本人、お互いの思いが分かっていないということがないように、冬季休業中に進路について話し合っておいてください。本日2年生保護者宛に「進路相談実施にあたり」を配布しています。保護者と一緒に生徒自身がしっかり目を通して主体的に自分の進路について考えておきましょう。



～〈2年生保護者宛プリント「進路相談実施にあたり」より一部抜粋〉～

本校生徒の進路先は、主に

- (1) 企業就労 (2) 福祉就労 (3) 進学(職業訓練校)の3つに分類されます

(1) の場合、一般企業、特例子会社に分類されます。特例子会社が増える傾向にあります。

(2) の場合はいろんな形態がありますが本校卒業生の場合は、

就労継続A型、就労継続B型、就労移行支援、自立訓練(生活)が主です。

A型の例としては現場実習や特別実習の見学でもお世話になっております、あじさい・エフピコ愛パッグ等があります。最低賃金以上・フルタイム(6時間以上)就業(割合としましては短時間就労が多いです)であり、企業就労に近い形態です。

就労移行支援は就職に向けて訓練をするところです。ほぼ各市町ごとにあります。利用期限が2年以内となっています。

就労継続B型は移行支援に向かう前のステップとして利用されることです。ただし、卒業後すぐの利用(直B<ちょくびー>と呼んでいます)は原則できないことになっています。利用にあたっては就労移行支援事業所等での「アセスメント実習」が必要となります。

自立訓練(生活)はA型・B型・就労移行支援が「生活面の安定」を前提としているのに対し「生活面を整える」ことを目標としています。利用期限2年です。

(3)の場合、伊丹の訓練校・友愛食品(西宮市)・玉津の訓練校(神戸市西区)があります。

(1)の方に目が向きがちになるかもしれませんが「**自分の現状**」を人に聞いたり、自分自身で見つめながら「自分にあった進路」を選ぶ必要があります。

冬季休業中に自分の進路についてしっかり考えておきましょう!